

(BC 14000 ~ BC300)

じょうもん

(BC 300 ~ 250)

やよい

ひみこ

やまたいこく が邪馬台国(という名の日本)を治めていた

(250 ~ 600)

こぶん

しょうとく

たいし てんのうちゅうしん ぶつきょう くに おさ 太子が天皇中心、仏教で国を治めようとした

あすか

なかとみのかまたり・なかのおおえのおうじ

たいか かいしん が大化の改新をした

(592 ~ 710)

なら

しょうむ

てんのう ぶつきょう くに まも 天皇が仏教で国を守ろうとした

(710 ~ 794)

へいあん

ふじわらのみちなが

けんりよく きぞく たの が権力をにぎって、貴族を楽しんでいた

むらさきしきぶ

げんじものがたり ちょうへんれんあいさくひん か が源氏物語(長編恋愛作品)を書いた

せいしょうなごん

まくらのそうし きぞく ひとひと か が枕草子(貴族や人々のこと)を書いた

たいらのきよもり

ぶし はじ せいじてき ちから も が武士で初めて政治的な力を持った

(794 ~ 1185)

かまくら

みなもとのよしつね

だんのうら たたか ひき へいし か が壇ノ浦の戦いで↑率いる平氏に勝った

みなもとのよりとも

せいいたいしょうぐん が征夷大將軍となった。↑をたおす

ほうじょうまさこ

つま おっと しご ばくふ じっけん は↑の妻であり、夫の死後幕府の実権をにぎる

(1185 ~ 1333)

むろまち

あしかがよしみつ

きんかくじ かんせい が金閣寺を完成させた

あしかがよしまさ

まご ぎんかくじ た おうにん らん お いんきよ は↑の孫、銀閣寺を建てたが、応仁の乱が起こり隠居した

(1336 ~ 1573)

あづちももやま

たけだしんげん

やまなしけんう さいきょう きばたい ひき は山梨県生まれ、最強ともいわれた騎馬隊を率いた

おだのぶなが

てんかとういつ あしが つく あげちみつひで ころ は天下統一の足掛かりを作ったが明智光秀に殺される

とよとみひでよし

あと ぜんこく とういつ ねんぐ しく つく は↑の後、全国を統一し、年貢の仕組みを作った

(1573 ~ 1603)

えど

とくがわいえやす

せきがはら たたか やぶ ねん たいせい よ いしずえ きづ は関ヶ原の戦いで↑を破り、265年にわたる泰平の世の礎を築いた

まつおばしょう

はいく せかい もっと みじか し たか は俳句を世界で最も短い詩として高めた

おおしおへいはちろう

ききん くる ひと すく は飢饉で苦しむ人を救おうとした

とくがわよしのぶ

さいご しょうぐん せいけん てんのう かせ は最後の將軍で政権を天皇へ返した

(1603 ~ 1868)

めいじ

さいごうたかもり

ばくふ たお さつまはん かしん は幕府を倒そうとした薩摩藩の家臣

さかもとりょうま

ちょうしゅうはん どうめい むす は↑と長州藩に同盟を結ばせた

ふくざわゆきち

だいいょうさく がくもん かいがいぶんか ふ にほん すず みち しめ の代表作は「学問ノススメ」海外文化に触れ日本の進むべき道を示した

いとうひろぶみ

しよだいないかくそうりだいじん は初代内閣総理大臣となった

しぶさわえいいち

だいがいしゃ そうせつ かか はたくさんの大会社の創設に関わった

(1868 ~ 1912)

たいしょう

のぐちひでよ

おうねつびょう けんきゅう は黄熱病の研究をした

(1912 ~ 1926)

しょうわ

なつめそうせき

ぼつ かずかず ぶんがくさくひん か は「坊ちゃん」など数々の文学作品を書いた

(1926 ~ 1989)

へいせい

にとべいなぞう

だいいちせいかいたいせん しゅうりょう ちょうせい は第一次世界大戦の終了を調整した

(1989 ~ 2019)

れいわ

よしだしげる

にほんこくけんぽう こうふ は日本国憲法を公布した

(2019 ~ )